令和6年第2回葛城市議会定例会会議録（第1日目）

1. 開会及び散会 令和6年6月13日 午前10時04分 開会
午前11時48分 散会

2. 場 所 葛城市役所 議会議場

3. 出席議員15名

1番	西川善浩	2番	横井晶行
3番	柴田三乃	4番	坂本剛司
5番	杉本訓規	6番	梨本洪瑠
7番	吉村始	8番	奥本佳史
9番	松林謙司	10番	谷原一安
11番	川村優子	12番	増田順弘
13番	西井覚	14番	藤井本浩
15番	下村正樹		

欠席議員0名

4. 地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名

市長	阿古和彦	副市長	東錦也
教育長	椿本剛也	企画部長	高垣倫浩
総務部長	林本裕明	財務部長	米田匡勝
市民生活部長	西川勝也	都市整備部長	安川博敏
産業観光部長	植田和明	保健福祉部長	中井智恵
こども未来創造部長	葛本章子	教育部長	勝眞由美
上下水道部長	井邑陽一		

5. 職務のため出席した者の職氏名

事務局長	板橋行則	書記	神橋秀幸
書記	岸田聖士	書記	西邨さくら

6. 会議録署名議員 8番 奥本佳史 9番 松林謙司

7. 議事日程

日程第1 会議録署名議員の指名
日程第2 会期の決定について
日程第3 報第2号 葛城市土地開発公社の経営状況の報告について

- 日程第4 報第3号 令和5年度葛城市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について
- 日程第5 承認第2号 専決処分の承認を求めることについて
(葛城市税条例の一部を改正することについて)
- 日程第6 承認第3号 専決処分の承認を求めることについて
(葛城市国民健康保険税条例の一部を改正することについて)
- 日程第7 承認第4号 専決処分の承認を求めることについて
(令和6年度葛城市一般会計補正予算(第1号))
- 日程第8 議第39号 葛城市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正することについて
- 日程第9 議第40号 奈良県住宅新築資金等貸付金回収管理組合規約の変更について
- 日程第10 議第41号 奈良県住宅新築資金等貸付金回収管理組合の解散について
- 日程第11 議第42号 奈良県住宅新築資金等貸付金回収管理組合の解散に伴う財産処分について
- 日程第12 議第43号 工事委託協定の変更協定の締結について(尺土駅舎南側改修工事委託)
- 日程第13 議第44号 令和6年度葛城市一般会計補正予算(第2号)の議決について
- 日程第14 「令和5年請願第2号 家族介護支援事業(紙おむつ支給)の支給条件を緩和することを求める請願」の取下げについて
- 日程第15 請願第1号 葛城市における带状疱疹ワクチンへの一部助成を求める請願について

開 会 午前10時04分

川村議長 ただいまの出席議員は15名で、定足数に達しておりますので、令和6年第2回葛城市議会定例会を開会いたします。

本日、議会だより用に議場内の写真撮影を行いますので、ご承知おきください。

葛城市議会では会議出席者のタブレット端末などの情報通信機器の使用を認めておりますので、ご承知おき願います。

本日、令和6年第2回定例会が招集されましたところ、議員各位には何かとご多用の中ご臨席を賜り、厚く御礼を申し上げます。本定例会も、議員各位の格段のご協力によりまして、議会運営が円滑に進行できますようお願い申し上げます。

ここで報告事項を申し上げます。本定例会に市長より提出されました議案は、議事日程記載の日程第3から日程第13までの11議案であります。また、今回、請願の取下げが1件と請願の提出が1件ございます。なお、議事の進行上、議案の朗読は省略いたします。

また、条例改正議案等の新旧対照表を議席に配付いたしておりますので、ご承知おき願います。

次に、監査委員から例月出納検査結果について報告がありました。お手元に配付いたしておりますので、ご清覧賜りますようお願い申し上げます。

次に、葛城市議会全員視察研修についてご報告申し上げます。

去る5月15日に実施いたしました葛城市議会全員視察研修の結果報告書を作成いたしましたので、お手元に配付しております。また、その概要についてご報告申し上げます。

葛城市議会全員視察研修の結果についてご報告いたします。去る5月15日、岡山県津山市において、津山市小田中浄水場更新工事についての視察研修を行いました。小田中浄水場では、一部施設の老朽化に伴い、約6年の期間をかけて施設の更新事業が行われました。事業手法には、デザインビルド方式、DB方式を採用され、今回はそのメリット、デメリット、そして、デザインビルド方式を選択した経緯や決め手についての説明を受けました。

小田中浄水場においては、供給を続けながらの工事であることや、施設の竣工図等の保管状況などから、設計自由度が高く、民間事業者のノウハウを生かしやすいこの方式を採用されており、具体的な話を伺えたことで、今後、葛城市において水道施設を更新する際に事業手法を判断するための参考となりました。また、小田中浄水場では、更新事業に伴い、カビ臭原因物質の吸着除去を目的に粉末活性炭処理を導入されており、その経緯や処理効果、ランニングコスト等についても学ばせていただきました。

津山市では、粉末活性炭処理が市で対象としている原因物質に効果があるかを仮設実証施設を用いて検証し、効果を確認してから施設を建設するなど、水道水の水質保全への恒久的な対策として、とても丁寧に取り組まれていました。また、施設の整備には国庫補助事業の採択を受けたというお話も伺い、葛城市の水道水の水質向上へ向けた議論の取組に生かしていきたいと感じました。

葛城市議会では、これまで水道施設の老朽化や水道水の水質に関して調査を続けてまいりました。今回見聞させていただきましたことを踏まえ、今後は、1つ上へとステージを進

め、施設の更新や水道水の水質に関する対策について、どのように進めていくべきか議論を尽くしてまいりたいと思います。

以上をもちまして令和6年度葛城市議会全員視察研修の報告といたします。

以上で葛城市議会全員視察研修の報告を終わります。

次に、委員会視察に係る委員派遣等についてご報告を申し上げます。去る5月13日から5月14日にかけて実施いたしました各常任委員会視察研修の結果報告書が各常任委員長より議長宛てに提出されておりますので、その概要についてそれぞれ報告を願います。

まず、総務建設常任委員会視察研修の結果の報告をお願いいたします。

7番、吉村始議員。

吉村総務建設常任委員長 改めまして、おはようございます。議長のお許しを得ましたので、総務建設常任委員会視察研修の結果についてご報告いたします。

初めに、今回の研修を快く受け入れてくださった特定非営利活動法人尾道空き家再生プロジェクト様と、一般財団法人矢掛町観光交流推進機構様には、この場をお借りしてお礼を申し上げます。

去る5月13日、14日の2日間、本委員会といたしまして、広島県尾道市及び岡山県矢掛町において、それぞれ視察研修を行いました。研修1日目は、尾道市において、尾道空き家再生プロジェクトについて、特定非営利活動法人尾道空き家再生プロジェクト様から研修を受けました。尾道市の山手側では、洋館や旅館、長屋等の様々な時代の建物が密集しており、その独特な景観は魅力的ではありますが、車が通れないほど道が狭く、建替えや新築ができずに放置され、廃屋となる空き家が増え続けています。尾道空き家再生プロジェクト様は、その町並みの保存や次世代のコミュニティの確立を目的に活動されており、空き家修繕のほか、移住希望者にも寄り添い、定住に向け支援しておられました。研修では、空き家再生の実例を拝見でき、地域住民も巻き込み、官民一体となって取り組まれている空き家対策や移住促進について大変参考となりました。

研修2日目は、岡山県矢掛町にて、やかげDMO様より、滞在型観光まちづくりについて研修を受けました。矢掛町におきましては、観光事業に取り組む際、庁舎内の決裁や公平性の担保などといった制約に限界を感じ、矢掛町からの拠出金をもとに、一般財団法人矢掛町観光交流推進機構、通称やかげDMOが設立されました。やかげDMOでは、観光まちづくりに取り組むに当たり、観光客ばかりに目を向けるのではなく、地域住民同士の交流にも力を入れておられ、観光事業の成果を地域住民とも分かち合うことによって、地域全体で観光客をもてなそうとする意識が共有されていました。このような地域に根差した観光事業を可能にしたのは、やかげDMOの組織体制が、行政からの出向者のみならず、地元商店の代表や大学教授なども含めた体制だったからであり、官民学の連携が図られた、よい組織づくりだと理解しました。また、矢掛町の町並みは、本市における當麻寺参道と類似しており、観光協会や地元住民との連携など非常に参考になる点が多いと感じました。

尾道市、矢掛町いずれの研修におきましても、各委員からの活発な質問がなされ、大変有意義な意見交換の場となりました。今回の視察研修において見聞したことにつきましては、

今後の葛城市のまちづくりに役立ててまいりたいと存じます。

以上をもちまして令和6年度総務建設常任委員会の視察研修の報告といたします。

川村議長 次に、厚生文教常任委員会視察研修の結果を報告願います。

14番、藤井本浩議員。

藤井本厚生文教常任委員長 おはようございます。ただいま議長のお許しを得ましたので、厚生文教常任委員会視察研修の結果についてをご報告申し上げます。

去る5月13日、14日の2日間、広島県府中市及び岡山県真庭市への視察研修を行いましたので、その内容についてご報告をいたします。

まず、1日目は、広島県府中市を訪問し、i-c-o-r-e F U C H Uの整備及び子育て支援の取組について視察を行いました。府中市では、地元企業である府中天満屋の提案で、駅前の商業施設の2階にi-c-o-r-e F U C H Uという複合施設が整備されており、そちらの施設の視察に伺いました。施設には、あらゆる世代の集いの場として多目的室や芝生広場、コミュニティスペースなどが設けられているほか、子育て支援の施設が併設をされており、地域の子育て中の親子が安心して過ごせる場所が提供されています。コト・モノ消費の活性化を課題とする企業側から無償寄附という形で提供されたスペースで、市は、市民交流の創出や若者、子育て世代へのアプローチなどの課題解決に取り組んでおり、子育てステーションでは、妊娠、出産、子育てに関するワンストップ支援や、一時預かり、土日、祝日の営業も実現されるなど、柔軟な、ユニークな官民連携の事業であると感じました。葛城市でも今後、民間の力を借りながら、市民サービスの向上ができる取組について考えていきたいと感じました。

次に、2日目は、岡山県真庭市に移動いたしまして、2件の視察を行いました。1つ目は、バイオ液肥をつくる生ごみ資源化及び食育の取組についてであります。真庭市では、地域資源を活用した循環型社会の実現を目指されており、農業廃棄物や食品廃棄物などを原料としたバイオ液肥の製造に取り組まれています。生ごみの収集からガス、液肥の生成までのプロセスを行政と民間が協力して行い、製造されたバイオ液肥は地元農家や企業に提供されるなど、民間事業者と行政、そして市民が協働して取り組む仕組みが整備されていました。また、市内の民間運営の施設では、バイオ液肥で育てたお米や野菜などの販売、食の大切さを学ぶことのできる体験型講座が数多く開催されています。農業体験などを通して、子どもから大人まで幅広い世代に興味、関心を抱かせる仕組みが形成されており、循環型社会の実現に向け、地域を巻き込んでいく体制が整えられていると感じました。このような地域が一体となった循環型社会への姿勢は大変重要であり、2021年にゼロカーボンシティ宣言をした本市葛城市においても、参考にしていきたいと感じました。

次に、真庭市2つ目の視察は、真庭市立中央図書館の整備についてであります。真庭市では、9つの自治体が合併した際の旧町の役場を活用した施設の1つとして、真庭市立中央図書館を整備されました。設計が葛城市の當麻複合施設と同じリファイニング方式ということで、その点を意識しながら視察を行いました。リファイニング方式は、既存の施設を再利用しながら、耐震性能を現行法レベルまで向上させる手法で、コストをはじめ、産業廃棄物

やCO₂の削減が可能であります。実際に施設を見学すると、真庭市の基本理念でありますバイオマス構想に基づき、森林資源が活用されたボイラーが設置をされ、内装には地元木材がふんだんに使われるなど、真庭市らしさを感じられる図書館でありました。また、個別学習室や会議室、キッズスペースもあり、それぞれの市民のニーズに合った利用ができるよう大変工夫されている印象でした。葛城市の當麻複合施設についても、市民の声を反映させながら、最終段階まで議論を尽くしたいと改めて感じておるところであります。

今回の2日間にわたる研修は、今後の議員活動に寄与するものであり、今回の研修を快く受け入れてくださった府中市と真庭市に対し、この場を借りて重ねてお礼を申し上げるものでございます。

なお、参加者から出た質問や視察の詳細について記載した厚生文教常任委員会視察研修報告書は、後日ホームページにも掲載する予定であることを申し添えます。

以上をもちまして令和6年度厚生文教常任委員会の視察研修報告といたします。

以上でございます。

川村議長 以上で報告を終わります。

ここで、阿古市長から招集者としてのご挨拶を願うことにいたします。

阿古市長。

阿古市長 皆様、おはようございます。開会に当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

本日、令和6年第2回葛城市議会定例会の招集をお願い申し上げましたところ、議員各位におかれましては、大変お忙しい中ご出席をいただきまして、厚く御礼を申し上げます。また、日頃より市政の推進に関しまして、多大なるご協力をいただいておりますことに心より御礼を申し上げます。

さて、本定例会におきましては、報告案件が2件、承認案件が3件、議決案件が6件、合わせて11件につきましてご審議をお願いするものでございます。それぞれの案件につきましては、提案時にその内容をご説明させていただきますので、よろしくご審議を賜りますようお願い申し上げます。

以上、簡単ではございますが、開会に当たりましてのご挨拶とさせていただきます。よろしく願いいたします。

川村議長 これより日程に入ります。

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第88条の規定により、8番、奥本佳史議員、9番、松林謙司議員を指名いたします。

次に、日程第2、会期の決定についてを議題といたします。

本定例会の会期、議事日程、審議方法について議会運営委員会で協議願っておりますので、委員長から報告願います。

13番、西井覚議員。

西井議会運営委員長 皆さん、おはようございます。令和6年第2回葛城市議会定例会の開会に当たり、去る6月4日、議会運営委員会を開催し、諸事項につき慎重に協議しておりますので、

その結果についてご報告いたします。

まず初めに、議事日程及び審議方法についてでございます。

まず、日程第3、報第2号につきましては、報告案件でございます。上程し、その内容説明を受けた後、法の規定により質疑のみを行います。

次に、日程第4、報第3号につきましても、報告案件でございます。上程し、その内容説明を受けた後、質疑を行います。こちらにつきましても、法の規定により質疑のみといたします。

次に、日程第5、承認第2号から日程第7、承認第4号までの3議案につきましては、専決処分の承認でございます。一括上程し、その内容説明を受けた後、一括質疑を行い、委員会付託を省略し、討論、採決は1議案ごとに行います。

次に、日程第8、議第39号の条例の一部改正1議案につきましては、上程し、その内容説明を受けた後、質疑を行い、厚生文教常任委員会に付託し、審議をお願いします。

次に、日程第9、議第40号から日程第11、議第42号までの奈良県住宅新築資金等貸付金回収管理組合の解散に関する3議案につきましては、一括上程し、その内容説明を受けた後、一括質疑までを行い、3議案全てを厚生文教常任委員会に付託し、審議をお願いします。

次に、日程第12、議第43号の工事委託協定の変更協定に関する議案につきましては、上程し、その内容説明を受けた後、質疑を行い、総務建設常任委員会に付託し、審議をお願いします。

次に、日程第13、議第44号、令和6年度一般会計補正予算1議案につきましては、上程し、その内容説明を受けた後、質疑を行い、予算特別委員会を設置し、審査を付託いたします。なお、委員会の定数を8名としますので、各常任委員会からそれぞれ4名ずつ委員の選出をお願いします。

次に、日程第14として、請願の取下げについて上程し、説明、質疑、討論を省略し、取下げの承認について採決いたします。

最後に、日程第15、請願1号につきましては、上程し、厚生文教常任委員会に付託し、審査をお願いします。

以上、1日目は散会いたします。

続いて、会議日程及び会期は、お手元に配付のとおりでございます。会期は本日6月13日から6月27日までの15日間とし、17日午前10時より本会議、一般質問を行います。18日午前10時より本会議、引き続き一般質問を行います。19日午前9時30分より総務建設常任委員会を開催いたします。20日午前9時30分より厚生文教常任委員会を開催します。各常任委員会におかれましては、付託議案の審査及び所管事項の調査をお願いいたします。21日は午前9時30分より予算特別委員会を開催し、付託議案の審査をお願いいたします。また、議会改革特別委員会が21日午後2時より開催されることになりましたので、ご報告いたします。25日は午前9時30分より當麻庁舎の危険性排除に伴う機能再編に関する特別委員会を開催いたします。26日は予備日とし、27日午前10時より本会議を再開し、初めに、会期中に行われました各委員会における調査事項についての審査状況を各委員長よりご報告をお願いします。その後、各委員会に付託された議案につきまして、各委員長より審議結果について報告をお願い、

質疑、討論の後、採決を行います。会議日程及び会期につきましては以上でございます。

次に、今回提出されました意見書（案）はございませんので、ご承知おきをお願いいたします。

最後に、一般質問につきましてでございます。質問回数につきましては、一括質疑方式を選択された場合は2回まで、3回目は発言のみとなります。一問一答方式を選択された場合は、回数に制限はございません。また、時間制限につきましては、質疑、答弁を含めまして、1人60分以内といたします。なお、反問時間は時間制限には含めません。

以上、報告といたします。皆様のご理解を賜りますようよろしくお願いいたします。

川村議長 ただいまの議会運営委員会委員長からの報告のとおり、本定例会の会期は本日13日から27日までの15日間とすることにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

川村議長 ご異議なしと認めます。よって、会期は本日13日から27日までの15日間とすることに決定いたしました。

重ねてお諮りいたします。

議案審議につきましても、ただいまの議会運営委員会からの報告のとおり行うことにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

川村議長 ご異議なしと認めます。よって、議会運営委員長の報告のとおり議案審議を行うことにいたします。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりでございます。

これより議案審議に移ります。

日程第3、報第2号、葛城市土地開発公社の経営状況の報告についてを議題といたします。

本件につき報告を求めます。

東副市長。

東 副市長 令和5年度の葛城市土地開発公社の経営状況につきまして、お手元に配付をしております令和5年度葛城市土地開発公社経営状況報告書に基づきまして、ご説明を申し上げます。

それでは、2ページをご覧ください。令和5年度の事業収支でございますが、収益的収支といたしまして、収益的収入が10万4,099円、収益的支出が2万7,716円でございます。また、資本的収支といたしまして、資本的収入が0円、資本的支出が23万6,897円となっております。

続きまして、令和5年度中の取得事業と売却事業でございますが、それぞれ、ともにございませんでした。

続きまして、3ページの令和5年度の貸借対照表をご覧ください。

まず最初に、資産の部でございますが、令和5年度末におけます流動資産の現金及び預金、これにつきましては1,668万7,917円でございます。内訳といたしましては、普通預金といたしまして1,168万7,917円と、資本金であります基本財産の定期預金が500万円でございます。

また、代行用地といたしまして2億587万7,236円で、総面積にいたしまして1万7,312.02平方メートルでございます。資産の合計は2億2,256万5,153円でございます。

次に、負債の部でございます。流動負債の未払金が324万9,450円、固定負債の借入金が1億5,750万円、合計で1億6,074万9,450円が負債合計額でございます。なお、借入金につきましては、葛城市水道事業からの借入れによるものでございます。

続いて、資本の部でございますが、先ほど説明させていただきました、定期預金となっております資本金が500万円、前期繰越準備金が5,673万9,320円で、令和5年度の当期純利益である7万6,383円を加えまして、6,181万5,703円が資本合計額でございます。

続きまして、4ページの令和5年度の損益計算書をご覧ください。先ほどご説明させていただきましたが、令和5年度は取得事業及び売却事業はございませんでしたので、事業収益、事業原価はございません。一般管理費といたしましては、固定資産税等で2万7,716円の事業損失、また、駐車場貸付代等による事業外収益が10万4,099円で、経常利益は7万6,383円でございます。そして特別損失として、その他の特別損失はございません。よって、経常利益の7万6,383円がそのまま当期純利益として同額の7万6,383円となります。

続きまして、5ページの令和5年度キャッシュ・フロー計算書をご覧ください。事業活動によるキャッシュ・フローでは、その他事業収入によります10万3,760円が増加いたしましたので、用地取得事業としての支払額26万4,613円が減少し、小計にて16万853円の減少となります。小計額に受取利息339円を加えまして、事業活動によるキャッシュ・フローとして16万514円の減少となっております。投資活動によるキャッシュ・フローはございませんので、1枚めくっていただき、次の6ページをご覧ください。財務活動によるキャッシュ・フローにつきましても、ございませんでした。その結果、令和5年度のキャッシュ・フローといたしまして、期首残高の1,684万8,431円から16万514円を減少し、年度末における現金及び預金は1,668万7,917円となっております。

続きまして、7ページの令和5年度財産目録につきましても、先ほど3ページの貸借対照表でもご説明をさせていただきましたので、割愛をさせていただきます。次に、8ページの収支決算書をご覧ください。令和5年度の収益的収入及び支出でございます。収益的収入でございますが、受取利息339円、雑収益といたしまして10万3,760円、合計で10万4,099円の収入となっております。次に、収益的支出でございますが、一般管理費2万7,716円、よって、合計で同額の2万7,716円の支出となっております。

続きまして、9ページをご覧ください。令和5年度の資本的収入及び支出でございます。資本的収支でございますが、令和5年度の収入はございませんでした。

次に、資本的支出でございますが、公有地取得事業費といたしまして、支払利息23万6,897円、よって、合計で23万6,897円の支出となっております。

次に、10ページの会計決算意見書をご覧ください。令和5年度の決算につきまして、去る5月21日に、土地開発公社の監事でございます吉村総務建設常任委員会委員長と堀川監査委員会事務局長に監査を行っていただきました結果、関係諸帳簿等、いずれも適正であることをお認めいただきましたことをご報告申し上げます。

以上で、令和5年度におけます葛城市土地開発公社の経営状況報告書についてのご説明を終わらせていただきます。よろしくお願い申し上げます。

川村議長 これより質疑に入ります。

質疑はありませんか。

14番、藤井本浩議員。

藤井本議員 土地開発公社のことにつきましては、この前の3月議会でも質疑を行わせていただいております。その質疑については、覚えていただいている方は覚えていただいているであろうかと思いますが、土地開発公社は解散を予定すべきではないかということ私は強く思う次第で質疑をさせていただいたところでもあります。3月議会でのお答えでは、奈良県でも、市では、約半分ぐらいの市町村は土地開発公社を解散している。町村を見ても、半分以上が少なくなっている。全国を見ると、もっとの割合で少なくなっている。ただ、全国を見ると、という話になりましたけど、合併等もありましたので、一概には言えない部分はありますけども、全体としてこれをなくしていこうと。土地開発公社の時代的な役割はなくなったであろうという観点から、なくしていつているわけです。隣町である香芝市も、もう土地開発公社はないわけです。御所市もない。こういう議論はもう既にやられてないという状況の下で、葛城市は今もまだ、こうやって土地開発公社について説明をされて、議会で議論をしていると。もうそういう時代じゃないですよということを3か月前に申し上げたところでもあります。そっち方面を向いてはるのかなというようなお答えであったと思いますが、具体的には全く進んでないであろうと思います。

そこでお伺いするんですけども、今、これの長であります東副市長からもございましたように、令和5年度、昨年度も取得したものもない。売却したものもない。貸借対照表は利息がついていると、こういった状況になっているわけです。土地開発公社が有意義に使われた時代というのは、土地というものがどんどん値上がりをするという時代が一時ございました。皆さん方も、ある程度の年の方は覚えてはるやろうけど、土地転がしと言われるぐらい、今買うといたら何年か先には上がるねん、というような時代もございました。また、そういう時代というのは、公共工事も多くて、だから、早く先行取得をしていこうということで、公有地拡大の推進に関する法律をもとに土地開発公社というのはでき上がって、先行取得をしていく、できるだけ安く買っていくと。計画ができたなら買っていくというのが土地開発公社やったわけです。それが今は値下がりか、うまく見ても横ばいの状況で、公共事業も土地取得も減っている。だから何遍も申し上げますけども、購入するものもなかったし、売却するものもない。何のためにあるねんというのが私の考え方で、早くそういうふうに進んでもらいたいわけですが、そこでお尋ねをしたい。

いわゆる公拡法に基づく土地取得と、先行取得という形で、今もこれが必要やということで、土地を取得せなあかんと。もう一つは、一般会計で土地の、法律上の言葉が間違っていたら申し訳ないんですけども、ダイレクトに一般会計で収用法という形で買いに行くこともできるわけですね。だから、今は土地の値段も上がらない。下がり気味か横ばいの状況であれば、何も土地開発公社で先行取得して、その作業もして経費も使って、その経費をオン

して、今度、一般会計へ売却するという、そういう無駄なことはせんと、早くやらなあかんけども、1つ目の質問として、私が今回聞きたいのは、葛城市はこれをまだ必要やと、こういう考え方であるわけですね。それはそれで確立さえされていたら、私はいいと思います。公拡法に基づく先行取得をしなければならないという土地の取得の方法と、いわゆる収用法に基づく、一般会計からダイレクトに買うと。これのすみ分けというんですか、区切りというんですか、葛城市としてはどのように運用されているのか。この部分についてお尋ねをいたします。

川村議長 高垣企画部長。

高垣企画部長 企画部、高垣です。よろしくお願ひいたします。

ただいまの藤井本議員のご質問ですが、まず、公社のほうでの土地を購入する場合についてですが、市からの公共用地の先行取得依頼に基づきまして、公社の理事会の中で協議いたしまして、意思決定し、土地を取得することになります。そのときの用地費用につきましては、水道事業から借り入れ、資金調達することで用地を取得することになります。一方で、市が用地を取得する場合、道路用地や公共施設の建築など公共事業に用いるための事業化を行いまして、市で予算を計上して、議会での議決を経て、土地の所有者と売買契約を行いまして、土地を取得する流れになります。

市と公社を使い分けする判断基準の1つといたしましては、土地の価格、所有者との交渉状況によりまして、市で予算化して売買契約ができる時期までに土地の取得が必要になる場合などが考えられます。土地を取得する方法につきましては、事業を実施する担当課が検討して方向性を決めることになっております。

以上でございます。

川村議長 藤井本議員。

藤井本議員 報告案件の中での質疑になりますので、あまり深くといったって用意もされてないだろうと思いますけど、今の使い分けの方法、聞いている方はそれで理解をされたのか分からないけども、各課から先行取得として買うてくれというのがあから、その場合は土地開発公社を使うと。そうでない、議会の中で予算化されて土地を購入する場合は、一般会計からダイレクトで買う。こういう説明であつたであろうかというふうに思います。その中で、もっと詳しく、時間があるときに、私なりに勉強しながら進めていかなあかんと思うんですけど、理事会という言葉も先ほど出てきました。理事会から土地開発公社に依頼がある。理事会で決めるという、この認識が間違っていたら間違っていますと言ってください。でも、理事会というのは、職員の皆さん方以外のところであるんだつたら、それはそれで理解はしますが、この理事会というのは、ここにおられる皆さん方で結成されているんでしょう。そういうことでしょうか。だから、理事会にかけるといって、職員の皆さん方で話をされているわけですか。だから、土地開発公社の長である副市長の立場からいうと、皆さん方の依頼があるよって、これはこのままいかなあかんねんと、こういう答えになるし、市長、答えは求めないですから、聞いておいてもらったらいけど、職員の皆さん方でつくっておられる理事会が土地開発公社に依頼をするというところだから、ここはもう少し検討する余地は

あると思います。3月議会で、今、高垣部長にお答えいただいたように、奈良県の大きな町というのは、皆、もう土地開発公社はなくなっています。見たら、奈良市もない、天理市もない、大和郡山市、大きい、北のほうはないです。周りを見ても、先ほどから言うてるように、香芝市もなくなっている。御所市もなくなっている。そういうところは一般会計のほうで収用に関するそういう法律をもって購入したはるから、ここのところはやっぱりもっと真剣に考えていただきたい。私から言うと、先送りしているとしか読めないです。

今、担当の部長としてお答えいただいたけども、今、既に土地開発公社で既に購入している土地があるということがあるから、これで解散ができないということだけども、解散されているほかの市町村、だって奈良市なんていっぱいあったと思います。大和郡山市にしたって、なかったということはないねんから。だから、そういうことも考えていきたいですけど、次の質問をもう一回したいと思います。

解散されるときに約3年間ぐらいかけて、土地開発公社解散プランというのを、解散計画ということを作成されています。ぱっとやめなさいとிட்டって、できへんわけですよ。私の事例が、間違っているか分からないけども、やっぱり3年間ぐらい必要やと思います。皆、3年間ぐらいかけて、そういう計画を立ててはります。奈良県の事例、悪いか分からないけど、高校だってそうじゃないですか。高校だって、もうやめますとか、統合しますとなれば、1年生はもうこれからは入れません。入学はできませんということで、何年かの計画を立てて事業というものをやっていかはるわけです。

また戻りますけども、土地開発公社も、市町村で見ると半分以上はなくなってるねんから、既に、そういうところを見ると、解散プランというのを立ててはります。そういうところまでの話はできてるのか、やろうというところがあるのか、もう一度確認しておきたい。今すぐせえと言うてない。プランだけでも立てなさいと、立ててくださいというお願いをしているわけですから、それは世間相場ですよ。そこはご答弁をいただきたいと思います。

川村議長 高垣企画部長。

高垣企画部長 企画部、高垣です。

ただいまの藤井本議員のご質問ですが、公社の理事会の中では、解散ということではないんですが、今保有している土地について、どのような形で、最終的には、市で買上げていただけるかというような議論はさせていただいております。まだプランの策定までは至っていない状況でございますが、協議については、中ではさせていただいております。

川村議長 藤井本議員。

藤井本議員 もう最後でございます。やっぱり理事会というものが、理事会で決めると、聞こえはええけど、これ、職員の部長らでやってはるということになったら、市長ですね。ここは真剣に取り組んでいただけるように、今すぐにできない、プランをいつまでにつくりたいというような形で、遅れのないように、言葉を言い返すと、先送りのないようにお願いをしたいということで質疑を終わります。

以上です。

川村議長 ほかに質疑はありませんか。

(「なし」の声あり)

川村議長 質疑ないようですので、質疑を終結いたします。

なお、本件は法の規定により報告のみでございますので、ご了承願います。

次に、日程第4、報第3号、令和5年度葛城市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告についてを議題といたします。

本件につき報告を求めます。

阿古市長。

阿古市長 ただいま議題となりました報第3号、令和5年度葛城市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告につきまして、提案理由を申し上げます。

本報告につきましては、令和5年度に設定いたしました繰越明許費で、住民税均等割のみ課税世帯及び子育て世帯生活支援金事業をはじめ、全11事業、総額で6億5,864万1,406円を令和6年度へ繰越いたしましたので、地方自治法施行令第146条第2項の規定により、繰越明許費繰越計算書を調製し、議会に報告するものでございます。

以上でございます。よろしくご審議を賜りますようお願い申し上げます。

川村議長 これより質疑に入ります。

質疑はありませんか。

(「なし」の声あり)

川村議長 質疑ないようですので、質疑を終結いたします。

なお、本件につきましても法の規定により報告のみでございますので、ご了承願います。

次に、日程第5、承認第2号から日程第7、承認第4号までの専決処分の承認を求めることについての3議案を一括議題といたします。

本3議案につき、提案理由の説明を求めます。

阿古市長。

阿古市長 ただいま議題となりました承認第2号から承認第4号までの3議案につきまして、一括して提案理由を申し上げます。

最初に、承認第2号、専決処分の承認を求めることにつきましては、葛城市税条例の一部を改正することについてでございます。

本案につきましては、本年3月30日に地方税法等の一部を改正する法律が公布されたことに伴い、所要の改正が必要となったため、地方自治法第179条第1項の規定により、本年3月31日付で専決処分を行ったものでございます。主な改正内容につきましては、大規模災害であった際の職権による市民税及び固定資産税の減免を可能とする規定の追加や、個人市民税の定額減税に係る規定の新設など、所要の改正を行うものでございます。施行期日は本年4月1日でございます。

次に、承認第3号、専決処分の承認を求めることにつきましては、葛城市国民健康保険税条例の一部を改正することについてでございます。

本案につきましては、本年3月30日に地方税法施行令の一部を改正する政令が公布されたことに伴い、賦課期日を4月1日とする、本年度の国民健康保険税の課税分から適用すべき

部分の改正が必要となったため、地方自治法第179条第1項の規定により、本年3月31日付で専決処分を行ったものでございます。主な改正内容につきましては、低所得世帯に係る国民健康保険税の軽減措置の対象世帯を拡大するため、5割軽減及び2割軽減の対象となる所得判定基準額を引き上げるものにつきまして、所要の改正を行うものでございます。施行期日は本年4月1日でございます。

最後に、承認第4号、専決処分の承認を求めることにつきましては、令和6年度葛城市一般会計補正予算（第1号）についてでございます。

本案につきましては、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ4億7,164万7,000円を追加いたしまして、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ181億764万7,000円としたものでございます。補正内容につきましては、国の施策による定額減税補足給付金事業と、住民税非課税世帯均等割のみ課税世帯及び子育て世帯生活支援金事業に係る経費を追加するもので、できる限り早期に支給する必要があることから、地方自治法第179条第1項の規定により、本年5月16日付で専決処分を行ったものでございます。

以上でございます。よろしくご承認を賜りますようお願い申し上げます。

川村議長 これより質疑に入りますが、本3議案につきましては一括質疑とし、委員会付託を省略し、討論、採決を1議案ごとに行います。

質疑はありませんか。

10番、谷原議員。

谷原議員 よろしくお願ひします。承認第3号の専決処分について質問を2件ほど行います。

この専決処分は、葛城市国民健康保険税条例の一部を改正するというところで、先ほど市長から説明がありましたように、軽減対象世帯を拡大するという内容になっております。そこでお尋ねするんですが、所得基準の引上げによって軽減を新たに受けられる方、どの程度、葛城市の国保でいらっしゃるのか。また、当然、軽減措置が拡大すれば収入がその分減るわけですから、収入減に対する補てん等はどうなっているのか。これについて2件お伺ひいたします。

川村議長 西川市民生活部長。

西川市民生活部長 ただいまの谷原議員のご質問にお答えをさせていただきます。

今回の改正によりまして、5割軽減の世帯が、令和5年度所得判定を基に算出いたしますと、15世帯増加いたします。2割軽減の世帯で9世帯の増加がございます。それに伴う財政措置でございますが、費用の4分の3は県負担金で補てんされることになっております。

以上でございます。

川村議長 谷原議員。

谷原議員 ありがとうございます。所得上限額を若干引き上げることなので、対象世帯としてはそう多くないかなと、この数を見て感じたところであります。3月定例会でも私は申し上げましたけれども、今、国民健康保険加入者数がどんどん減っていております。そのために奈良県の国民健康保険統一保険税に向けて、葛城市の国保税の引上げ予定率が、当初4.5%を毎年引き上げるといふものが、昨年は7%、今年度につきましては9%を超える引

上げ率になってしまいました。これは、今、国民健康保険から脱退者がどんどん増えて、加入者数が減ることによって国保会計が大変になるということで、引上げ率が大きくなってきていると。これにつきましては、高齢者の方が働く時間数を増やすことで、協会けんぽあるいは社会保険、働く時間数を増やすことで、国保を脱会して他保険に入るという、そういう流れがどんどん続いているということであります。このまま放置しておきますと、75歳の後期高齢者医療制度に加入するまでの高齢者の方が、国保からどんどん脱会することになれば、加入者の負担がますます増えるということになりますので、このように軽減措置を拡大するとか、あるいは子どもの均等割を軽減するとか、この間、若干改善はされてきましたけれども、抜本的に均等割及び平等割を廃止して、所得割のみにして協会けんぽ並みの保険税にしなければ、早晚、国保制度は行き詰まるというふうに思います。

市町村段階で均等割、平等割に対して独自措置をされる市町村もありますので、とりわけ子どもの均等割、今、2分の1、未就学児は軽減されていますけれども、子育て支援、あるいは国保会計のことも考えて、引き続き、軽減措置をぜひ葛城市でも独自にやっていただきたいということを申し上げまして、質問といたします。

以上です。

川村議長 ほかに質疑はありませんか。

8番、奥本議員。

奥本議員 1点だけ、確認をお願いいたします。承認第2号の件なんですけれども、地方税法改正に伴うものなんです、災害時の対応の件についてお伺いいたします。

従来、大規模災害時の減免については、申請という形をとっていたと思うんですけども、今回、職権でそれを可能とするわけなんです、従来の手続の申請という部分は引き続き残るのでしょうか。それとも職権による対応だけになるのでしょうか。ここだけお願いします。

川村議長 米田財務部長。

米田財務部長 財務部の米田でございます。どうぞよろしくお伺いいたします。奥本議員のご質問にお答えさせていただきます。

申請につきましては、従来どおり残ります。職権でできるという規定が追加されるということでご理解賜りたいと思います。

以上でございます。

川村議長 ほかに質疑はありませんか。

(「なし」の声あり)

川村議長 質疑ないようですので、質疑を終結いたします。

これより討論、採決に入りますが、討論、採決は1議案ごとに行います。

日程第5、承認第2号議案に対する討論に入ります。

討論はありませんか。

(「なし」の声あり)

川村議長 討論ないようですので、討論を終結いたします。

これより日程第5、承認第2号議案を採決いたします。

本案について原案のとおり承認することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

川村議長 ご異議なしと認めます。よって、承認第2号は原案のとおり承認されました。次に、日程第6、承認第3号議案に対する討論に入ります。討論はありませんか。

(「なし」の声あり)

川村議長 討論ないようですので、討論を終結いたします。これより日程第6、承認第3号議案を採決いたします。本案について原案のとおり承認することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

川村議長 ご異議なしと認めます。よって、承認第3号は原案のとおり承認されました。次に、日程第7、承認第4号議案に対する討論に入ります。討論はありませんか。

(「なし」の声あり)

川村議長 討論ないようですので、討論を終結いたします。これより日程第7、承認第4号議案を採決いたします。本案について原案のとおり承認することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

川村議長 ご異議なしと認めます。よって、承認第4号は原案のとおり承認されました。次に、日程第8、議第39号、葛城市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正することについてを議題といたします。

本案につき、提案理由の説明を求めます。

阿古市長。

阿古市長 ただいま議題となりました議第39号、葛城市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正することについて、提案理由を申し上げます。

本案につきましては、法令の改正に伴い、小規模保育事業所及び事業所内保育事業所における満3歳以上の児童に係る保育士、保育従事者の配置基準が見直されたことに伴う改正を行うものでございます。施行期日は公布の日でございます。よろしくご審議を賜りますようお願い申し上げます。

川村議長 これより質疑に入ります。質疑はありませんか。

(「なし」の声あり)

川村議長 質疑ないようですので、質疑を終結いたします。ただいま議題となっております議第39号議案については、厚生文教常任委員会に付託し、審査願います。

次に、日程第9、議第40号から日程第11、議第42号までの奈良県住宅新築資金等貸付金回収管理組合の解散に係る3議案を一括議題といたします。

本3議案につき、提案理由の説明を求めます。

阿古市長。

阿古市長 ただいま議題となりました議第40号から議第42号までの3議案につきまして、一括して提案理由を申し上げます。

最初に、議第40号、奈良県住宅新築資金等貸付金回収管理組合同規約の変更についてでございます。

本案につきましては、奈良県住宅新築資金等貸付金回収管理組合の解散に向け、解散に伴う事務の承継について規定するものでございます。施行期日は、奈良県知事の許可があった日でございます。

次に、議第41号、奈良県住宅新築資金等貸付金回収管理組合の解散についてでございます。

本案につきましては、奈良県住宅新築資金等貸付金回収管理組合を、令和7年3月31日をもって解散することについて構成市町村と協議するため、議会の議決を求めるものでございます。

最後に、議第42号、奈良県住宅新築資金等貸付金回収管理組合の解散に伴う財産処分についてでございます。

本案につきましては、奈良県住宅新築資金等貸付金回収管理組合の解散に伴う財産処分について構成市町村と協議するため、議会の議決を求めるものでございます。

以上でございます。よろしくご審議を賜りますようお願い申し上げます。

川村議長 これより質疑に入りますが、本3議案については一括質疑といたします。質疑はありませんか。

(「なし」の声あり)

川村議長 質疑ないようですので、質疑を終結いたします。

ただいま議題となっております議第40号から議第42号までの3議案については、厚生文教常任委員会に付託し、審査願います。

次に、日程第12、議第43号、工事委託協定の変更協定の締結について（尺土駅舎南側改修工事委託）を議題といたします。

本案につき、提案理由の説明を求めます。

阿古市長。

阿古市長 ただいま議題となりました議第43号、工事委託協定の変更協定の締結について、提案理由を申し上げます。

本案につきましては、令和5年6月の議会定例会において、工事委託協定の締結の議決をいただきました尺土駅舎南側改修工事委託につきまして、歩行者の安全対策等を目的とした駅前歩道整備を追加するなどとした結果、工事費が増額となったため、協定金額を当初の3億3,233万1,500円から3億4,146万4,200円に変更し、変更協定を締結しようとするものでございます。よろしくご審議を賜りますようお願い申し上げます。

川村議長 これより質疑に入ります。質疑はありませんか。

(「なし」の声あり)

川村議長 質疑ないようですので、質疑を終結いたします。

ただいま議題となっております議第43号議案については、総務建設常任委員会に付託し、審査願います。

次に、日程第13、議第44号、令和6年度葛城市一般会計補正予算（第2号）の議決についてを議題といたします。

本案につき、提案理由の説明を求めます。

阿古市長。

阿古市長 ただいま議題となりました議第44号、令和6年度葛城市一般会計補正予算（第2号）の議決につきまして、提案理由を申し上げます。

本案につきましては、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ3,993万2,000円を追加いたしまして、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ181億4,757万9,000円とするものでございます。主な補正内容につきましては、自治総合センターのコミュニティ助成を活用した防災資機材整備補助金や、コミュニティセンター建設補助金等を追加するものでございます。

以上でございます。よろしくご審議を賜りますようお願い申し上げます。

川村議長 これより質疑に入ります。

質疑はありませんか。

(「なし」の声あり)

川村議長 質疑ないようですので、質疑を終結いたします。

ここでお諮りいたします。

ただいま議題となっております議第44号議案については、8人の委員をもって構成する予算特別委員会を設置し、これに付託の上、審査することにいたしたいと思っておりますが、これにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

川村議長 ご異議なしと認めます。よって、議第44号議案については、8人の委員をもって構成する予算特別委員会を設置し、これに付託の上、審査することに決定をいたしました。

ここで暫時休憩いたします。なお、再開時刻については追って連絡をいたします。

休 憩 午前11時18分

再 開 午前11時45分

川村議長 休憩前に引き続き、会議を開きます。

先ほど設置されました予算特別委員会委員の選任については、委員会条例第6条第1項の規定により、お手元に配付の名簿のとおり議長において指名をいたします。

なお、委員長、副委員長につきましても、委員会条例第8条第1項の規定により、休憩中に予算特別委員会を開き選任いただいておりますので、ご報告いたします。

予算特別委員会委員長、藤井本浩議員、同じく副委員長、吉村始議員。以上です。

次に、日程第14、「令和5年請願第2号、家族介護支援事業（紙おむつ支給）の支給条件を緩和することを求める請願」の取下げについてを議題といたします。

お諮りいたします。

令和5年請願第2号につきましては、お手元に配付の請願取下げ申出書のとおり、請願者から取り下げたいとの申出がありましたので、これを承認することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

川村議長 ご異議なしと認めます。よって、令和5年請願第2号の取下げについては、承認することに決定いたしました。

次に、日程第15、請願第1号、葛城市における带状疱疹ワクチンへの一部助成を求める請願についてを議題といたします。

本請願第1号については、既に配付しております請願文書表のとおり、厚生文教常任委員会に付託し、審査をお願いいたします。

これで本日の日程は全て終了いたしました。

次の本会議は、お手元の日程表のとおり、17日、18日、27日それぞれ午前10時から本会議を再開いたしますので、午前9時30分にご参集願います。

なお、19日午前9時30分から総務建設常任委員会、20日午前9時30分から厚生文教常任委員会、21日午前9時30分から予算特別委員会、21日午後2時から議会改革特別委員会、25日午前9時30分から當麻庁舎の危険性排除に伴う機能再編に関する特別委員会がそれぞれ開催されますので、委員各位におかれましては日程表の日時に審査をよろしくお願いいたします。

皆様方には、早朝より慎重にご審議賜りましたことを厚く御礼申し上げます。

本日はこれにて散会いたします。

散 会 午前11時48分